病理専門医部会会報　　平成 29 年 7 月

病理専門医制度運営委員会だより（第 11 号）

1.　新しい専門医制度の動向と病理学会の対応について：

平成 30 年度開始予定である新しい専門医制度は着々と進行しております。予定では来年 4 月からの専門研修は基本的に全領域で新しい専門医制度で行われることになりました。病理学会は制度の導入を 1 年繰り上げていましたので，来年度からの専門医制度本格導入にあたっても，本年度と特に大きな変化はないように思われます。とはいえ，本年度に始めた専門研修と全く同じではありませんので，変更された内容の紹介をさせていただきます。

プログラムについて：プログラム制度に加えて，後述するカリキュラム制度の導入が認められたため，各プログラムで内容の一部変更が必要となりました。これにつきましては本年 6 月に各プログラムの責任者宛てに変更のお願いをしており，順調に進んでおります。

カリキュラム制度の導入：3 年間のローテーション研修を原則とするプログラム制度に加えて，設定された目標（剖検数が 3 年間で 30 例以上など）に向けた専門研修をしていただくカリキュラム制度を導入することが決まりました。カリキュラム制度は従来の病理学会専門医受験までの道程とほぼ同じですので，違和感は少ないものと思われます。ただ，原則としてローテーション研修をしていただくことには変わりなく，カリキュラム制度はあくまでも緊急避難的に用いるものであることはご理解ください。緊急避難的というのは，妊娠・出産・育児・介護・本人の疾病・大災害などによる研修施設の損壊などが想定されています。また，すでに他の基本領域の専門医資格（内科の場合は認定医も含む）所有者にたいして，つまり病理専門医資格とのダブルボードを目指す方に対してもカリキュラム制度は運用可能です。

採用試験：現時点（6 月 12 日）では確定してはいませんが，領域別（あるいは全領域？）で採用試験の日程を統一することが望まれるかもしれません。これにつきましては新たな情報が確認でき次第，病理学会の HP や NEWS LETTER で連絡させていただきます。

定員：本年度は定員については緩和されていましたが，来年度以降は基本的に定員を遵守していただく方向になると思われます。ただし，特段の事情がある場合には，病理学会としてもできる限りの対応はさせていただく予定でおります。また定員は各学年あたりで設定されていますが，これも事情によっては 3 年間の合計定員として対応ができるように考えていきたいと思っています。カリキュラム制度の方はプログラムの定員外ではありますが，施設全体での教育資源を考慮して採用していただく必要はあると考えています。

専門医試験：来年度から病理の専門研修を開始される方々は，3 年後の専門医試験合格後は「専門医機構専門医」として認定されることになります。

2.　専門医試験の会場について

専門医試験の会場は，従来 2 年単位で同じ支部の会場を用いてきました。また関東支部・中部支部・近畿支部でローテートし，最寄りの新幹線駅からのアクセスが良好な会場を選択してきました。順番では本年度と来年度は近畿支部，次の 2 年間は関東支部の担当となるのですが，以下の 2 つの事情により，本年は近畿支部（神戸大学），来年とその次は関東支部（東京医科歯科大学），次の 2020 年は近畿支部（神戸大学）と，変則的な運用になります。

2018 年の受験者は，従来の 4 年研修の方々と，2015 年から導入された 3 年研修の方々が同時に受験される年度になり，例年の 2 倍の受験者が出る可能性があります。この傾向は翌 2019 年まで続くものと思われます。このため，顕微鏡の準備（台数）を考慮して，歯学部の顕微鏡も利用可能な東京医科歯科大学を会場とします。

2020 年は東京オリンピックが開催されますが，病理専門医試験もオリンピックとほぼ同時期となります。この状況で，東京で宿泊の予約をすることはかなり困難であろうと思われますので，2020 年は近畿支部（神戸大学）を会場とします。

3.　病理専門医資格更新について：

今年度（2017 年秋）に更新を迎える病理専門医の皆様への重要なお知らせです。本年 2 月の専門医機構の理事会で，現時点で専門医有資格者の更新は，昨年までに比べ大幅に緩和されることになり，病理学会でもそれに対応して更新基準の緩和をしました。具体的な緩和事項として，① 領域講習（5 年間で最小 20 単位）と学術業績・診療以外の活動実績（0〜10 単位）の単位互換，② 共通講習を 5 年間で最小 5 単位から 3 単位へ引き下げ，③ 領域講習対象の実質的な拡張，④ 1 日に取得可能な単位上限の撤廃，⑤ 学術集会参加による単位上限を 5 年間で 3 単位から 6 単位へ引き上げ，⑥ 連続 3 回以上の更新者は診療実績の 10 単位を免除した合計 40 単位でも更新可能などです。これにともない，病理学会の資格更新手引きや専門医資格更新ガイダンスの改定を行っています。完成次第，病理学会の HP などで開示しますので，確認のほど宜しくお願いします。

資格更新に関しましては日本専門医機構の認定による更新と，従来の病理学会認定による更新と二通りの更新方法があり，専門医機構で更新された方は自動的に病理学会での認定更新もされることになります（認定更新シールを配布します）。これは医療法上の広告可能専門領域に病理学会専門医が入っていますが，専門医機構専門医はまだ法律上の記載がされていないた

めです（いずれ追記されると思われます）。専門医資格更新は，可能な限り日本専門医機構による新しい病理専門医資格更新基準のもとで申請手続きをしていただきたいと思います。ただし，やむを得ない事情がある場合は学会専門医での更新申請もしていただけます。

日本専門医機構認定病理専門医資格の更新を行うには，**「病理学会」による単位（該当期間：平成 24 年 11 月～平成 29 年 10 月）と，「専門医機構」による単位（該当期間：平成 27 年 4 月～平成 29 年 10 月）の両者のミックスで更新手続き**をしていただくことになっています。具体的に説明しますと，今年度（平成 29 年秋）に更新手続きをされる先生方は，「病理学会として 2.5 年分と専門医機構として 2.5 年分」の単位が必要とされています。このため，病理学会分として合計で 100 点×2.5/5 年の 50 点が必要で，専門医機構分は平成 27 年 4 月以降のもので 50 単位×2.5/5 年の 25 単位が必要となります。すでに 3 回以上更新された方は診療実績の 10 単位が免除されますので，40 単位×2.5/5 年の 20 単位が必要となります。病理学会分は従来の計算方式で，例えば病理学会総会出席が 20 点/1 回，支部会出席が 10 点/1 回です。その他の学会や研究会の出席点数については HP などを参考にしてください。専門医機構分は ① 診療実績として最小 3 単位（最大 5 単位），② 共通講習は最小 2 単位（最大 4 単位，ただし後述の必修 3 つのうち，少なくとも 2 単位が含まれている必要があります），③ 領域講習が最小 4 単位，④ 学術業績・診療以外の活動実績が最小 0 単位（最大 5 単位）で，①～④ の合計で 25 単位が必要となります。なお，③ の領域講習と ④ の学術業績・診療以外の活動実績の単位は互換できます（実際には ④ の単位を ③ に回す事例が多いと思われます）。

病理学会分の点数確認には，学会の参加証が必要ですが，**参加証は必ず記名したもので，かつ名札部分と領収書部分を切り離さずに提出**していただく必要があります（コピーも可です）。**専門医機構分の各種講習会参加証は，各講習会の会場で配布されますので，専門医番号と氏名を記載したうえで更新時まで各自で確実に保管してください。**

専門医機構による専門医更新には共通講習の受講（5 年間で 3 単位以上に変更，平成 29 年秋に申請をされる方については移行措置期間単位として 2 単位以上）が必要です。この 5 年間の 3 単位うち「医療安全」「医療倫理」「感染対策」の 3 つは必修です。共通講習については，病理学会より認定されている施設（認定施設と登録施設，今後は基幹施設と連携施設）で行われたものや，他学会（現時点では基本的診療領域）で開催されたものでも代用可能です。この場合，施設長や学会主催者が発行した受講証が必要となります。ただし，この制度は今年度中まで有効ですが，来年度以降は事前に専門医機構に講習会の登録を申請し，許可の下りた講習会だけが単位の対象となる予定です。領域講習については，病理学会主催の学術総会における指定された講習会（臓器別診断講習会など）が対象となります。こちらは共通講習と異なり，各施設における講習会や他学会の講習会はクレジットの対象にはなりませんので，ご理解ください。

3. 今後の日程について：

平成 29 年度病理専門医試験は，平成 29 年 8 月 5-6 日に神戸大学で行われます。

平成 29 年度細胞診講習会は，平成 30 年 2 月 10-11 日に東邦大学大森キャンパスで行われます。

（文責：北川昌伸・大橋健一・村田哲也）

==特集 ①　私の愛読書==========

「喜遊曲，鳴りやまず―斎藤秀雄の生涯」を読んで

市立札幌病院　病理診断科　　深澤 雄一郎

昨年，勤務中に突然の腹痛があり，総胆管結石の診断で入院しました。手術を覚悟しましたが，術前のエコー検査で排石したとのことで，めでたく退院となりました。

入院中に，中丸美繪著「喜遊曲，鳴りやまず―斎藤秀雄の生涯」を読んで大変感銘を受けました。これは斎藤秀雄の評伝でありながら，日本の近代音楽史や教育論など広い観点をもって書かれた名著です。ところで宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に出てくる楽長は斎藤をモデルにして書かれたとされています。宮沢は斎藤のオケの練習を何度か見に来ていたようです。私はチェロの高齢初心者ですが，楽長に絞られるゴーシュは身につまされます。こんな楽長には絶対出会いたくないなと思います。それが斎藤という人です。

斎藤は日本音楽界の草分けでチェリスト，指揮者として活躍し，桐朋音楽大学の前身である「子供のための音楽教室」を立ち上げ，小澤征爾，藤原真理，その他数えきれないほどの世界的音楽家を育てた人です。彼がいなければ今日の日本音楽界の隆盛はなかったと考えます。私が最も感銘を受けたのは彼の教育観です。彼は頑固，偏屈で音楽に関して一切の妥協は許しませんでした。子供に対しても技術をできるまでやらせる。できなければ止めろと言う。技術 90% で才能 10% と言ってはばからない徹底的に型にはめる教育です。桐朋の創設に関わった吉田秀和も「斎藤は音楽が好きでないのでは」といっています。しかし，これらの試練に耐えた後，多数の日本人音楽家が世界に羽ばたいていったのです。斎藤に音楽の基礎を徹底的に仕込まれた弟子たちは，自分の才能をそれぞれの場で開花させていったのだと思います。

私は，自分の恩師である伊藤哲夫先生のことを思い出しました。やはり病理診断に妥協はありませんでした。診断レポートを黒マジックで消されたことがありショックでした。現在，恩師と同じ立場にいる私が，同じことができるかと言われればとても難しいです。しかし，病理診断の基本は若い病理医に伝えたいと思っています。斎藤の弟子たちのように私の弟子が，そ

れぞれの場で才能を開花させることを切に望んでいます。

この本の最終章は最も美しく感動的なところです。病に倒れた斎藤が，最後に桐朋オーケストラの練習にやってきます。あれだけ厳しかった斎藤が，病にやつれながらも「もっと自由に，もっと歌え」と大声で楽員を励まします。感動が楽員一人一人にしみわたっていきます。みんなが泣きながらモーツアルトのディベルティメントを弾き続ける。音楽とは本当にすばらしいものだと思います。

私の愛読書

東京女子医科大学東医療センター病理診断科　　藤林 真理子

鏡検や液晶画面の凝視で目が疲れた時はともかく，一時間余りの通勤電車内では読書は欠かせない。好きなジャンルは強いて言えば（強いてと断らなくても，と家族に笑われるのだが）推理小説である。英語では mystery と detective story，仏語では「警察小説」という言葉が推理小説全体を表している。

ところで最近 94 歳で父が死んだ。物を捨てられない世代の両親の家にはうんざりするほどの本も残され，古本屋に出張買取りを頼まなければならない。遺された家族に迷惑をかけぬよう，人生の終わりに向けての身仕舞いを始めよう，そう思った。いくつかのジャンルの中で，これだけはとっておきたい本・シリーズを選ぶのだ。推理小説の中ではスウェーデンの「マルティン･ベック」シリーズを選ぶ（シューヴァル，ヴァールー共著）。60 年から 70 年代の，文字通りの警察小説で，社会性と刑事たちの個性が良く描けている点が優れており，日本のものはその点において物足りない。長い間絶版であったが，最近角川文庫で新訳が刊行され始められた。これを引き継ぐものとして 90 年代以降のスウェーデンを舞台としたクルト・ヴァランダーシリーズ（ヘニング・マンケル）が登場し，移民の流入や貧困・失業に苦しむ社会の大きな変化が描かれている。しかし「マルティン・ベック」シリーズが優る。

他のジャンルでは身近にいた，スターリン時代に翻弄されたロシア人教師の秘密を探った「オリガ･モリソーヴナの反語法」（米原万里），第一次大戦の塹壕戦で記憶を失った恋人を捜しあてる「長い日曜日」（セバスチアン・ジャプリゾ），井伏鱒二の「多甚古村」「本日休診」，ノンフィクションの「パリは燃えているか」（登場人物が夥しいので頭の体操になる）を採る。

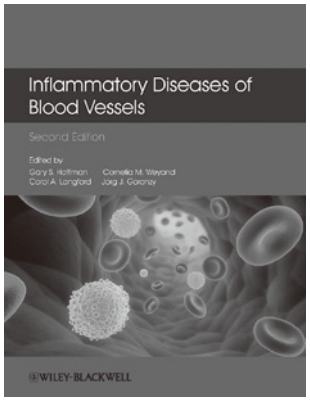
なお，自分の愛読書を披露するのは個人の好み，拡大解釈すれば思想信条にも関わることなので，少し恥ずかしい。大学ニュースなどの原稿を依頼された時は，女子医大が出てくる小説の感想を書くことが多い。たとえば，佐々木譲「地層捜査」三田完「俳風三麗花」「草の花」。ご興味があればご一読を。

最後に，読書・多読が決してボケ防止に役立たないことがわが母で実証された，と申し上げる。体を動かして一生懸命働いたほうが良いのだろう。指を動かすのが一番良いからピアノを弾け，弾け，と娘に言われている。

私の愛読書

岐阜大学医学部附属病院病理部　　宮崎 龍彦

私は自己免疫疾患，特に膠原病に興味を持ち，腎・血管炎およびリウマチの病理学を勉強してきました。その中で座右の書となったのは……まずは腎臓の教科書の定番，Brenner & Rector の The Kidney（現在 10th Edition）。未だ勉強中です。日常の腎病理診断においては新腎生検の病理－腎臓病アトラス－（坂口弘，北本清，中本安編著）。そして腎生検病理アトラス（日本腎病理協会・日本腎臓学会腎病理診断標準化委員会編），特に新腎生検の病理は 2003 年に購入してから 20 余年，手垢にまみれてぼろぼろになるまで読んでいます。血管炎に関しては Inflammatory Diseases of Blood Vessels 2nd Edision（Hoffman GS, Weyand CM, Langford CA and Goronzy JJ Ed.）を何度も見直しています（写真 1）。発生にはじまる基礎から実験系と歴史，各論では疾患概念から病態・治療，臨床的知見まで一本びしっと筋の通った名著です。



病理関係の書籍についてあれこれ述べても釈迦に説法，小生のもう一つのアクティビティである音楽に関する書籍も紹介したいと思います。「チェリビダッケの音楽現象学－28 のオーケストラとのコンサート記録付－」（セルジウ･チェリビダッケ著，石原良也･鬼頭容子訳）（写真 2）を熟読しています。チェリビダッケはフルトヴェングラーとカラヤンに挟まれた短い期間，ベルリンフィルのシェフだった指揮者です。妥協しない練習要求と極端なレコーディング嫌いのために団員らと対立し，フルトヴェングラーの死後，カラヤンにシェフの座を譲り，晩年にはミュンヘン・フィルを率いて奇跡的名演を多数残しました。小生 1990 年に縁があって公開レッスンで教えを受けることが出来ました。彼はネオ･グノーシス派の哲学者でもあり，発せられた言葉がどのような現象を引き起こすかを論じていま

した。これを音楽に置き換えたのが「音楽の現象学」です。1985 年に行われた講演の記録で，音響の副次的効果と心理学，和声法からリズム論につながり，サンスクリット語 ekagrata を引き出して音楽と精神の一体性に言及，そしてテンポの必然性と哲学的展開。さらにディスカッションでは数々の迷質問をなで切りにする様が描かれています。本書は「音楽に選択の余地はなく，したがって解釈もない」と締めくくられています。ちょっと難解です。

彼がどうしてベルリンフィルを継げなかったかを客観的に解析した名著が，「チェリビダッケとフルトヴェングラー」（クラウス・ラング著，齋藤純一郎訳）です。この本は処世術の参考書にもなり得ます（笑）。色々話題に事欠かないマエストロでしたが，実像は……。彼は座禅を組むのが好きで晩年に度々来日しましたが，小生の知る限り本当の理由はきっと赤坂の寿司屋にあったと想像しています。4 人前の寿司桶を小脇に抱えてヒョイパクで握りを食べるマエストロは，この上なく幸せそうな顔をしていました。これが幸せな音楽に繋がるのでしょう。ここで得た幸せの価値観，音楽観は日本病理医フィルにも引き継がれています。

私の愛用書

大阪市立総合医療センター病理診断科　　福島 裕子

日々の診断業務で手放せないものに「○○癌取り扱い規約」（金原出版），「腫瘍病理鑑別アトラスシリーズ」（文光堂），WHO blue book，AFIP シリーズがありますが，この辺りは皆様も愛用されているのでないでしょうか。これらに加えて，個人的に「この臓器の時はこの本」みたいなものがありますので少々ご紹介したいと思います。

「非腫瘍性骨関節疾患の病理」（文光堂）：靭帯や滑膜，大腿骨頭など整形外科から腫瘍ではないものが提出されたときはまずこれをみます。大抵のことは載っているので大変重宝しております。

「小児腫瘍組織カラーアトラスシリーズ」（金原出版）：小児腫瘍が出てきたときはまずこれで見当をつけ，そして，成書で調べていきます。小児腫瘍全体の病理組織像を網羅していると思います。

「肝臓を診る医師のための肝臓病理テキスト」（南江堂）：肝臓病理の基本的・実践的な知識がまとめられていて，わかりやすいです。肝生検の所見をつける時にどこをみたらよいか？おこがましいですが，この本のおかげで少しわかったような気になっています。

「子宮腫瘍病理アトラス」，「卵巣腫瘍病理アトラス（現在は卵巣・卵管腫瘍病理アトラス）」（文光堂）：写真がきれいで，説明もわかりやすく読みやすいです。術中迅速時の卵巣腫瘍の切り出し時，掲載されている肉眼像の写真と照らしあわせて切り出していました。

「みき先生の皮膚病理診断 ABC シリーズ」（秀潤社）：組織のどこをどうみたらよいのか？をきれいな組織写真とわかりやすいイラストや言葉で説明してくれていて，読みやすくかつ印象的です。近所の皮膚科を受診した時に先生の診察室の机の上に置かれていて，心の中で私も持ってます，と呟いてしまいました。

「神経病理インデックス」（医学書院）：見開き 2 ページで説明とイラスト，写真がセットになっていて読みやすいです。また脳のマクロとミクロの写真が大変わかりやすく剖検時の脳の切り出しや所見をつけるのに愛用しています。またこの本のおかげで苦手な神経病理に少し親しみが持てました。非腫瘍性の脳病変の所見をつける時には気合を入れてまず，この本を手に取ります。

「Histology for pathologists」（Lippincott Williams & Wilkins）：正常の組織について詳細に記載されています。標本を見ていて謎の組織？があった時に調べると大体は載っています。

市井の一般病理医が日々診断しているときに愛用している本を思いつくままに列挙させていただきました。あくまでも個人的な意見であり，少し古いものもありますが，何かのご参考になりましたら幸いです。

無為耽書

PCL 大阪　病理・細胞診センター　　中嶋 安彬

筆者自身は殆ど本を読まず，どうしても必要な場合に限り「読まないで読む法」（加藤周一）や Bayard, P.：Comment parler de livres que l’on n’a pas lus？など（要するに知ったかぶりです）に準じ，大般若経転読法会に倣い，表紙から最初の 10 枚位を眺め，間はぱらぱらとページに風を通し，裏表紙を含めた終わりの 10 枚位を再び眺めるか，殆どの場合は，表紙・標題紙を眺めるだけで「眼光紙背に徹し」て全巻を一気に見通していて，以下の記載も全てこれを前提としています。

（1）　仕事の時に読む本

「(- - -) jede wissenschaftliche “Erfüllung” bedeutet neue “Fragen” und will “überboten” werden und veralten.」（Max Weber：Wissenshaft als Beruf）とも指摘されている如く，病理診断学書の記載も発刊された時点で既に「凌駕され」「時代遅れ」となっているであろうと，もしするなら，日常診療現場の診断病理医にとって最も必要な文書情報は，既刊書ではなく，「これから出版されるであろう」単行本・雑誌論文や，公刊以前のデータ，などになるかもしれず，現に USCAP 等において，展示されている全領域のポスターをずっと見歩いている「同好の士」とすれ違う事もあり，本項に取り上げるべきは「明日出る（であろう）本」となるのが適切なのかもしれません。

（2） 仕事をしない時に読む本

怠惰極まりなき筆者も，実はごく僅かだけ調べ物をした事があり，大学院時代，病理学教室の書庫から見つけ出したHenke-Lubarsch 叢書中の Karl Lennert の（同じ Henke-Lubarsch 叢書で英語版の名著 Lennert, K.：Malignant Lymphomas Other than Hodgkin's Disease：Histology・Cytology・Ultrastructure・Immunology, Springer, 1978 ではなく，彼のより若い頃に書かれた）非腫瘍性リンパ節の教科書を辞書で全単語を引きながら調べ，「何も所見を見つけられない」剖検リンパ節について，徹夜で所見を書き連ねる毎に感じた「完璧且つ徹底的な記載で全巻を埋め尽くすような本」への驚きと畏怖とは今も消えず（内容はすっかり忘れましたが），Willis, R.A.：Pathology of Tumours（Butterworth, 1967）；Jaffe, H.L.：Metabolic, Degenerative and Inflammatory Diseases of Bones and Joints（Philadelphia, Lea and Febiger, 1972）；Russell, D.S., Rubinstein, L.J.：Pathology of Tumours of the Nervous System（Williams & Wilkins Company, 1971，この後に出た厚い改訂版のほうではありません）；Dahlin, D.C.：Bone Tumors：General Aspects and Data on 6,221 Cases（Thomas, 1978，これもこの版に限ります）や，（どうしても忘れてはならない）Lorenz E. Zimmerman 先生の eye pathology に関する数々の著作，などと共に，現在では得難い真の「名著」としての風格と内容とを兼ね備え，特に Willis，Russell 両先生の独断・断言・決めつけは，名人芸の域を超え，天上からの声の如くに全巻を圧して轟き，分子医学的解析なども全て薙ぎ倒す如き迫力に唯々ひれ伏す他ありません。筆者が唯一例外的に全巻を幾度となく通読し，比較を絶した別格としてここで挙げるべき，天野重安遺文集・「鏡頭無心」（天野重安先生記念事業会，非売品，1965）についてはその内容を要約する事は筆者には永久に不可能で，本稿の読者の方々が（恐らくその方にとっては幸いな事に）この本を手に取られる機会も先づないでしょう。全く個人的な事ながら，上記の先生方の多くについては，それぞれ弟子・友人などの関係者から直接に，筆者のような amateur の耳に迄 anecdote が伝わり，伝説的な逸話に事欠かないという点も偉大な病理医の証左かもしれません。

（3） 仕事も何もしたくない・仕事が手につかない時に読む本

私にとって最も切実なこの類いの本は，まっとうな先生方にとっては全く必要がなく，真に serious な本を取り上げると暗くなるばかりですので，比較的穏やかな引用として，1 Do one thing at a time. Focus only on what you do. Do not look back, or ahead while you are working. Live in the now. 2 Do the best you can, and do not worry about the outcome. You have done your best. 3 Don't worry about things over which you have no control. Such worry is useless and self-destructive. 4 Don't feel closed in. Realize that there are always options for anything that you have to do. 5 Recognize your own limitations and within those boundaries set realistic goal for yourself. 6 When a crisis occurs, face it. Take constructive action and organize a proper response. Be flexible. 7 Be active and productive.（Sehnert, K.W.：Stress/Unstress：How You Can Control Stress at Home and on the Job. p96, Augsburg Publishing House, Minneapolis, 1981.）を挙げさせて下さい。あと，Bloch, A.：Murphy's Law Complete, All the reasons why everything goes wrong！ Mandarin, 1985. 及び，Bloch, A.：Murphy's Law, Doctors；Malpractice Makes Perfect！ Price Stern Sloan, 2000. などはどなたもご存じの言わずもがなの本と思います。

（4） 仕事ができなくなった末期の床で読む本

65 歳で胃癌により亡くなられたギリシャ語の高津春繁先生は最後の入院の時も推理小説を読み続けられ，余りに速く読み終わられるので，夫人が洋書店から購って来られるのが間に合わない程だった，との由で，一代の碩学も末期の床にあっては，ホメーロスやソポクレースなどではなくいわば俗書に耽っておられた事に，言い表し難い感銘を受け，この点だけは身の程知らずにも大学者を見習い，もう退院のない病床で読むためにと，気のついた折に paperback を買い集め，山積みにしているものの，やはり未熟者の悲しさ，就寝時などについ手にとってしまう事があり，意味が解らないのですぐ眠くなり便利ですが，時間をますます無駄にしてしまいます。以前に眺めた（「読んだ」ではありません）Schlink, B.：Der Vorleser. Diogenes, 1995；Kristof, A.：Le Grand Cahier. Seuil, 1986. 最近では，Dicker, J.：La Verite sur l'Affaire Harry Quebert など（実は，この三冊くらいが私がここ 20 年位の間に手に取った本のほぼ全て）に，無駄に時間を空費してしまっています。

（5） 贅言

「盡信書則不如無書」（孟子巻第十四盡心章句下 3）（但し，ここでの「書」は「尚書」の意）とありますが，筆者の勝手な誤作文に依ると "Rely on books, do not believe in books" となるのかもしれず，実地診断業務についてのみ言えば，あくまで本は使うもので信じるものではない，のかもしれません。

---

1 手 3 手の詰将棋

済生会今治病院　病理診断科　　坂東 健次

今回のテーマは「愛読書」ということで，愛読書とはちょっと違う気もしますが「1 手 3 手の詰将棋（著：米長邦雄）」は何度も読みました。

将棋とは，二人で対戦するボードゲームの一種で，王将（玉将），飛車，角行，金将，銀将，桂馬，香車，歩兵の 8 種類 20 枚ずつの駒を使って，1 手ずつ交互に自分の駒を動かし，先に相手の王将を捕まえた方が勝利，というルールです。古代インドのチャトランガというゲームが起源と言われており，形を変えながら世界中に拡散しました。西洋ではチェス，中国ではシャンチー，日本では将棋で，他にも色々ありますが，将棋には「相手から取った駒を自分の駒として利用できる」という独特の

ルールがあり，ゲームがより複雑になっています。1 回の対局は 100 手前後で終わることが多く，たまに 200 手を超える大熱戦もあります。

詰将棋（つめしょうぎ）とは，相手の王将を捕まえる問題のような物です。王将が捕まった状態を「詰み」と言うため，詰将棋と呼ばれます。実際の将棋の対局に出てきそうな問題もありますが，実戦ではあり得ないパズル的な作品も多数あり，手数も短編から長編まで色々（史上最長手数の作品は 1525 手！）で，将棋の対局とはまた違った魅力があります。自分の実力では長編は難しいので 15 手以下の短編を解くことが多いですが，悩んだ末に解けた時の爽快感は何とも言えず，「こんな妙手があったか！」と感動することもあります。

「1 手 3 手の詰将棋」は，高校生の頃，実戦で勝つためのトレーニング目的で買いました。1 手詰と 3 手詰の問題が計 200 問という構成で，短手数なので問題としては簡単ですが，実戦で 3 手詰を確実に詰ますのは容易ではなく，高校 1 年生時に出場した将棋大会では 3 手詰のチャンスに気付かず逆転負けしました。同じ過ちを繰り返さないために，買った本を何度も繰り返し読み，「考えたら解ける」というレベルではなく，全く悩まず瞬時に解けるようにしました。

医師国家試験の際も「1 手 3 手の詰将棋」を持参し，試験直前に読みました。普段なら問題を見た瞬間に解けるはずなのに，緊張のためスムーズに解けませんでしたが，しばらくすると普段のスピードで解けるようになり，国家試験の緊張感も和らいでいきました。

詰将棋を解くだけではなく創作もしています。将棋専門の月刊誌に自作の詰将棋を投稿するコーナーがあり，大学 5 年生時に近代将棋誌（現在は休刊）で初入選（19 手詰，攻方：2 五銀・4 一銀・5 三飛，玉方：1 三銀・2 一玉・4 五歩，持駒：角）し，その後は将棋世界誌で研修医 2 年目（13 手詰，攻方：2 二角・2 六歩・3 二金，玉方：1 二玉・1 六飛・2 一桂・3 四歩・4 三金，持駒：飛角香）と香川大学病理部入局後 3 年目（11 手詰，攻方：1 六歩・3 二銀・3 三歩・4 二馬・5 四馬，玉方：1 一香・1 四龍・2 一桂・2 二玉・2 三歩・2 五銀，持駒：金）に入選しました。

これからも仕事の合間に色々な詰将棋にチャレンジし，しばらく入選から遠ざかっている創作も継続していきたいです。

私の一冊：「かもめのジョナサン　完成版」

九州大学　　藤原 美奈子

10 代のころに読んだ小説で最近「完成版」として書籍化した本がある。

「かもめのジョナサン　完成版」。この小説は，リチャード・バックという元米空軍戦闘機パイロットの小説家が書いたもので，1970 年に初版し，1972 年ごろにアメリカでベストセラーになったものだ。日本でも映画化とともに 1974 年ごろに人気が出て，ベストセラーになった。もともと 4 部構成になっていたそうだが，著者の意向で 3 部までで出版された。2012 年に著者が瀕死の大事故に遭い，それをきっかけに Part Four を加えた「完成版」として出版された。日本語訳は，「青春の門」を書いた五木寛之である。

内容は，主人公のカモメ，ジョナサン・リヴィングストンが「飛ぶ」という行為そのものに価値を見出し，「飛ぶ」高さや速度の限界まで挑戦し続け，親を含め周囲のカモメたちから「変人（カモメなので，変カモメか？）」扱いされ，ついには群れから追放される，というのが Part One である。Part Two では，追放されてひとりぼっちになってもなお飛行を研究し続けるジョナサンの前に光り輝く 2 羽のカモメが現れ，より高次なる世界へとジョナサンをいざない，そこで偉大なるカモメ，チャンと出会う。チャンは「瞬間移動」を体得しており，ジョナサンも日々懸命に努力し，ついにそれを会得する。Part Three では，昔の仲間を忘れられないジョナサンが故郷に戻り，そこで昔の自分のように孤独に「飛行」を追究している若いカモメ，フレッチャー・リンドら 7 羽の弟子とともに群れの意識改革を進めていく。群れのカモメ全員の意識が高次へと至った時，ジョナサンは群れから姿を消した。完成版の Part Four では，ジョナサンが去った後の群れのカモメたちが描かれている。残されたジョナサンの弟子たちは，まるでキリストの残された弟子たちのように扱われ，神格化されたジョナサンはさらに偶像化され，群れのカモメたちは「飛行」することに一切興味を抱かなくなり，「偉大なるカモメの御子」であるジョナサンを崇めることのみに執着するようになっていた。その行動に違和感を覚えた若いカモメ，アンソニーの目の前にまたあのジョナサンが現れて，この小説は終結する。

ファンタジーでやや宗教がかったような内容と言えるかもしれないが，Part Three までを読んだ 10 代の私には，このジョナサンがとても眩しく映り，憧れにも近い感情を抱いた記憶がある。しかし，改めて完成版を読み，「飛行を追究すること」を自身の「病理診断を追究すること」に置き換えて考えてみると，私もジョナサンのような病理診断の神様を崇めることだけに執着し日々の努力を怠っている，残された群れのカモメなのではないかと思えてきた。ジョナサンは神でも「偉大なるカモメの御子」でもなく，ただの変なカモメだ。人間も同じで何かに邁進しその努力を惜しまぬことが高次なる世界への扉を開けることに繋がるのではないか。私も日々努力を惜しまぬ「変な病理医」になってみたいと思う。

==特集 ②　私の恩師==========

第二の父，「やす」教授

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科病理学分野　　山田 壮亮

単刀直入に申し上げますと，わたくしは「感謝」という徳は信じ得ても，「恩義」という徳は信じ得ないのでございます。

ですので，わたくしの辞書の中に「恩師」という言葉は見つからないのであります。

畢竟，わたくしはこの世で非常に稀有な，そして幸運の持ち主であったということも，恥じらいなく申し上げたいのです。「医学」，その王道の一つと固く信じて止まない「病理学」を通じて，「第二の父」に巡り合えている訳ですから。。。第二の父，それは越えたと思っても，やはりいつも私のその先を歩いている，不気味な強い「存在」。学問だけでなく人間にも何か鋭く通じた，いわゆる「人物」。そして，衰えを時に見せながらも，常に失おうとしない「前衛」と，その根底に漂う「反逆」精神。

わたくしは，病理学下積みの 10 年間というもの，とても幸せな時間を過ごして参ったと，心より「第二の父」に感謝の念を表するところであります。このたび，縁あって北陸金沢の地で第一歩を踏み出すに際しまして，襟をより一層正すとともに，「第二の父」へ送らせていただいた 4 年前の言葉をもう一度噛みしめたく，ここに共有させていただいたことをご容赦くださいませ。先生，ありがとうございます。山田壮亮拝

心より贈る言葉　～笹栗靖之教授退官に際しまして～

産業医科大学第二病理学　　山田 壮亮

赤裸々に申し上げます。笹栗靖之教授は，私にとって第二の父親だったんです。いや，そりゃ御本人はお嫌でしょうが，此れは生姜ないんです。

人生の中で大きなターニングポイントは，間違いなく人との出会い。産業医科大学に入学してからの医学生時代，そして外科研修医・病理大学院生時代，ついには今現在に至るまで，私を父親のように温かく見守ってくれ，そして時に指導者としても厳しく対峙，叱咤してくださりました。頼り，時には遠くから眺めながらも，必ずいつか越えなければならない山，それが私にとっての笹栗靖之先生だったと薄々感じつつ，この 2013 年という一つの節目の年に確信されました。

恩義は最も信じない徳の一つであると，ヘルマン・ヘッセも言っております。非礼を働きつつも寛容に受け入れてくれる懐の広さ，笹栗靖之教授という人物の奥深さ・味わい深さを，肌で触れ理解している一人であると自負しております。まだまだ自他共に認める若輩者であり，相も変わらず恩師に対し噛み付くネズミとなろうこともありましょうが，今後も間違いなく私を温かく，そして正しく導いてくれる第二の父親であり続けてくださりましょう。わたくし自身は，どのような形になるかは神のみぞ知るとうっちゃりながらも，少しでも近付き登り越えてみせなければならないと，年の暮れに独り固く心に期するものです。山田壮亮拝

==支部報告 ==========

-- 北海道支部 ----------

北海道支部編集委員　　深澤 雄一郎

学術活動報告

第 179 回日本病理学会北海道支部学術集会（標本交見会）が鳥越俊彦先生（札幌医科大学医学部第一病理）のお世話で 2017 年 6 月 3 日（土），札幌医科大学北 1 講義室において行われました。

ランチョンセミナー

「肺癌ガイドライン 2016 年版における ALK 陽性肺癌の治療戦略」

演者：勤医協中央病院　呼吸器内科　劔持喜之先生

「ALK 陽性肺癌における診断のポイント」

演者：香川大学医学部附属病院　病理診断科・病理部教授
羽場礼次先生

症例検討は以下のとおりです。

番号 / 発表者（と共同演者）/ 発表者の所属 / 症例の年齢 / 症例の性別 / 臓器名（主なもの）/ 臨床診断 / 発表者の病理診断

17-01：立野正敏[1]，守田玲菜[1]，青木直子[2]，柳内　充[3] / [1]釧路赤十字病院病理診断科，[2]旭川医科大学病理学講座，[3]KKR 札幌医療センター / 60 歳代 / 女性 / 子宮 / 急激な進行を示した子宮内膜ポリープ状腫瘍の一例 / Endometrial stromal sarcoma

17-02：湯澤明夏[1]，吉川摩由[2]，田中伸哉[3]，長嶋和郎[4]，武井英博[1] / [1]旭川医科大学病院病理部，[2]札幌東徳洲会病院形成外科，[3]北海道大学大学院腫瘍病理，[4]札幌東徳洲会病院病理診断科 / 50 歳代 / 女性 / 軟部 / 表皮嚢腫疑いで摘出された下肢軟部腫瘍の一例 / Sclerosing epithelioid fibrosarcoma

17-03：大内知之，武内利直 / 恵祐会札幌病院病理診断科 / 40 歳代 / 女性 / 腎 / 腎腫瘍の一例 / Mucinous tubular and spindle cell carcinoma

17-04：菅原太郎[1]，立野正敏[2]，杉田真太朗[1]，辻脇光洋[1]，瀬川恵子[1]，伊藤夢美香[1]，小野佑輔[1]，長谷川匡[1] / [1]札幌医科大学医学部病理診断学，[2]釧路赤十字病院病理診断科 / 50 歳代 / 女性 / 結腸 / 下行結腸ポリープの一例 / Inflammatory fibroid polyp

17-05：今本鉄平[1]，石立尚路[1]，石井保志[1]，岩崎沙理[1]，辻　隆裕[1]，深澤雄一郎[1]，大内知之[2] / [1]市立札幌病院病理診断科，[2]恵佑会札幌病院病理診断科 / 50 歳代 / 女性 / 鼻腔 / 多彩な組織像を示す鼻腔腫瘍の一例 / Human papilloma virus-related carcinoma with adenoid cystic-like features

17-06：池田　建，計良淑子 / 函館五稜郭病院パソロジーセンター / 40 歳代 / 女性 / 乳腺 / 特異な組織学的形態を示した乳腺腫瘍の一例 / Solid-papillary carcinoma without neuroendocrine features

北海道病理医会施設代表者会議

役員

北海道病理医会会長（代表者）	深澤雄一郎
北海道病理医会副会長（副代表）	外丸詩野
標本交見会担当幹事	鳥越俊彦
バーチャルスライド担当幹事	山城勝重
庶務・会計担当幹事	鈴木　昭

選挙管理委員長　　今　信一郎
監事　　立野正敏

施設代表者メンバー（アイウエオ順，敬称略）

池田　健（函館五稜郭病院），今村正克（札幌診断病理学センター），大内知之（恵佑会札幌病院），鹿野　哲（勤医協中央病院），菊地慶介（帯広厚生病院），後藤田裕子（札幌厚生病院），小林博也（旭川医科大学大学院免疫病理），今　信一郎（市立室蘭総合病院），近藤信夫（ジェネティックラボ病理解析センター），鳥越俊彦（札幌医科大学医学部第一病理），澤田典均（札幌医科大学医学部第二病理），篠原敏也（手稲渓仁会病院），鈴木　昭（KKR 札幌医療センター），高桑康成（NTT 東日本札幌病院），高橋秀史（北海道子ども総合医療・療育センター），高橋達郎（釧路労災病院），高橋利幸（北海道消化器科病院），武井英博（旭川医科大学病院病理部），立野正敏（釧路赤十字病院），田中伸哉（北海道大学大学院腫瘍病理），外丸詩野（北海道大学大学院分子病理），西川祐司（旭川医科大学大学院腫瘍病理），長谷川　匡（札幌医科大学附属病院病理診断科），深澤雄一郎（市立札幌病院），松野吉宏（北海道大学病院病理診断科），山城勝重（北海道がんセンター）

以上 26 名

平成 29 年度　事業計画

1.　標本交見会

平成 29 年度担当幹事：

札幌医科大学医学部第一病理　鳥越俊彦先生

第 179 回　2017 年　6 月　3 日（土）
第 180 回　2017 年　9 月 16 日（土）
第 181 回　2017 年 12 月 16 日（土）
第 182 回　2018 年　3 月 17 日（土）

2.　共催事業等

①　細胞診講習会（北海道臨床細胞学会との共催）　11 月頃
②　Lymphoma Clinico-Pathology Conference（LCPC）
第 13 回 7 月 8 日（土）
第 14 回 平成 30 年 2 月頃で調整中

3.　北海道病理医会奨励賞（MVP：Most valuable pathologist）

今年度より若い病理専攻医（専門医をのぞく）の中から，標本交見会で優秀な業績を示した人に贈られることになりました。

-- 中部支部 ----------

中部支部編集委員　　浦野 誠

東海病理医会　検討症例報告

第 333 回

（平成 29 年 2 月 18 日　参加者 19 名　於：藤田保健衛生大学）

症例番号 / 病院名 / 病理医 / 年齢（歳代）/ 性 / 臓器 / 臨床診断 / 病理組織学的診断

5033 / トヨタ記念病院 / 澁谷　亮 / 40 / 女 / 肝 / 多発性肝腫瘍 / Epithelioid hemangioendothelioma
5034 / 光生会病院 / 黒田　誠 / 40 / 女 / 軟部 / 軟部腫瘍 / Cellular angiofibroma
5035 / 新城市民病院 / 黒田　誠 / 60 / 女 / 膵 / 膵腫瘍 / Solid pseudopapillary neoplasm
5036 / 藤田保健衛生大学 / 中川　満 / 60 / 男 / 副腎 / 副腎腫瘍 / Adrenocortical carcinoma
5037 / 藤田保健衛生大学 / 中川　満 / 40 / 女 / リンパ節 / リンパ節 / Lymphangiomyomatosis
5038 / 藤田保健衛生大学 / 岡部麻子 / 30 / 女 / 子宮 / 子宮，リンパ節 / Lymphangiomyomatosis
5039 / 藤田保健衛生大学 / 岡部麻子 / 70 / 男 / リンパ節 / リンパ節転移 / Metastasis of NET
5040 / 静岡赤十字病院 / 岡部麻子 / 60 / 女 / 扁桃 / 扁桃腫大 / MTX-associated lymphoproliferative disorder
5041 / 鈴鹿中央総合病院 / 村田哲也 / 30 / 女 / 尿膜管 / 尿膜管腫瘍 / PEComa
5042 / 大同病院 / 小島伊織 / 4 / 女 / 皮膚 / 紅色結節 / Spitz nevus
5043 / 大同病院 / 小島伊織 / 60 / 女 / 肺 / 肺癌 / Hamartoma
5044 / 小牧市民病院 / 桒原恭子 / 60 / 女 / 鼻腔 / 鼻腔腫瘍 / Sarcoma, unclassified

第 334 回

（平成 29 年 3 月 11 日　参加者 15 名　於：藤田保健衛生大学）

5045 / 総合青山病院 / 浦野　誠 / 50 / 男 / 精巣上体 / 精巣上体腫瘍 / Adenomatoid tumor
5046 / 蒲郡市民病院 / 浦野　誠 / 70 / 女 / 側頭動脈 / 側頭動脈炎 / Giant cell arteritis
5047 / 藤田保健衛生大学 / 浦野　誠 / 20 / 男 / 皮膚 / 結節性紅斑 / Primary cutaneons γδ T-cell lymphoma
5048 / 藤田保健衛生大学 / 浦野　誠 / 80 / 男 / 喉頭 / 喉頭腫瘍 / Chondrosarcoma
5049 / 小牧市民病院 / 桒原恭子 / 50 / 男 / 中手骨 / 骨腫瘍 / Metastatic carcinoma

第 335 回

（平成 29 年 4 月 15 日　参加者 22 名　於：藤田保健衛生大学）

5050 / 野垣病院 / 浦野　誠 / 40 / 女 / 肛門 / 肛門部腫瘍 / Hidradenoma papilliferum
5051 / 藤田保健衛生大学 / 中川　満 / 80 / 女 / 乳腺 / 乳癌 / Invasive lobular carchinoma, pleomorphic type
5052 / 藤田保健衛生大学 / 岡部麻子 / 9 / 男 / 大腸 / 慢性肉芽腫症 / Chronic granulomatosis
5053 / 藤田保健衛生大学 / 岡部麻子 / 50 / 女 / 膵 / 膵体尾部腫瘍 / Serous cystadenoma
5054 / 藤田保健衛生大学 / 塚本徹哉 / 6 ケ月 / 男 / 皮膚 / 褐色斑 / Mastocytoma
5055 / 岐阜大学病院 / 小林一博 / 30 / 男 / 皮膚 / カポジ肉腫疑い / Kaposi's sarcoma
5056 / 名古屋大学病院 / 中里匡人 / 50 / 女 / 軟部 / 軟部腫瘍 / Elastofibroma
5057 / 諏訪中央病院 / 浅野功治 / 80 / 女 / 胆嚢 / 胆嚢癌 / Malignant melanoma
5058 / 小牧市民病院 / 桒原恭子 / 60 / 女 / 鼻腔 / 鼻腔肉腫 / Sarcoma, unclassified
5059 / 成田記念病院 / 桐山諭和 / 50 / 男 / 副腎 / 副腎腫瘍 / Oncocytosis

-- 近畿支部 ----------

近畿支部編集委員　　桑江 優子

I.　活動報告

日本病理学会近畿支部第 77 回学術集会が下記の内容で開催されました。参加者 179 名。（検討症例，画像等につきましては近畿支部 HP（jspk.umin.jp/）にて閲覧可能です。アカウント・パスワードの必要な方は近畿支部事務局（jspk-office@umin.ac.jp）までお尋ね下さい）

開催日：2017 年 5 月 20 日（土）
会場：大阪大学医学部講義棟 1 階 A 講堂
世話人：大阪大学　森井 英一 先生
モデレーター：堺市立総合医療センター　棟方 哲 先生
テーマ：子宮体部腫瘍

症例検討
902　鼠径部軟部腫瘍の 1 例
栗栖 義賢 先生，他（大阪医科大学 病理学教室，他）
903　40 歳台女性に発生した骨盤内腫瘍の 1 例
大谷 知之 先生，他（奈良県立医科大学，他）
904　左足背皮膚腫瘍の一例
中山 理祐子 先生，他（京都大学医学部附属病院 病理診断科，他）
905　大腸癌切除標本の病変近傍に壊死性肉芽腫を認めた 1 例
山下 大祐 先生, 他（神戸市立医療センター中央市民病院 病理診断科, 他）
906　前縦隔腫瘍の一例
武鑓 美沙 先生，他（大阪大学医学部附属病院 病理診断科）

特別講演
『子宮体癌 UP-TO-DATE』
三上 芳喜 先生（熊本大学）

病理講習会　『子宮体部腫瘍』
1.　子宮の間葉系腫瘍
森谷 鈴子 先生（滋賀医科大学）
2.　子宮体部腫瘍
和仁 洋治 先生（姫路赤十字病院）

II.　今後の活動予定

第 78 回学術集会　2017 年 9 月 9 日（土）
開催場所：神戸大学
テーマ：縦隔病理と肺癌取り扱い規約の要点
第 79 回学術集会　2017 年 12 月 9 日（土）
開催場所：大阪市立大学
テーマ：腎炎
第 80 回学術集会　2018 年 2 月 3 日（土）
開催場所：大阪市立総合医療センター
テーマ：卵巣癌
夏期病理セミナー『夏の学校』2017 年 8 月 26 日（土）
開催場所：奈良県立医科大学
テーマ：病理に興味のある学生・初期研修医へ
― 病理って？　重要性と楽しさを学ぼう！―
（詳細は近畿支部 HP をご覧ください）

-- 中国・四国支部 ----------

中国四国支部編集委員　　串田 吉生

B.　開催予定

1.　第 123 回学術集会
開催日：平成 29 年 6 月 24 日（土）
場　所：川崎医科大学 校舎棟 7 階 M702 講義室
世話人：川崎医科大学病理学 1　定平吉都教授

2.　第 18 回病理学夏の学校
開催日：平成 29 年 8 月 19 日（土）～8 月 20 日（日）
場　所：土佐御苑（〒 780-0052　高知県高知市大川筋 1-4-8）
世話人：高知大学病理学講座　降幡睦夫教授

-- 九州・沖縄支部 ----------

九州・沖縄支部編集委員　　大石 善丈

第 355 回九州・沖縄スライドコンファレンスが下記のように開催されました。

日時：2017 年 1 月 28 日（土）13 : 00～17 : 00
場所：大分大学医学部臨床講義棟 2 階　臨床大講義室
世話人：大分大学医学部・医学研究科診断病理学講座
横山繁生教授
参加人数：104 人

スライドコンファレンスの途中で下記の学術講演が行われました。
演題：「軟部腫瘍の病理診断」
演者：九州大学大学院医学研究院　形態機能病理
小田義直教授

臨床診断あるいは発表演題名 / 発表者 / 発表者の所属 / 症例の年齢 / 症例の性別 / 出題者診断 / 投票最多診断
座長：甲斐敬太（佐賀大学）
1.　右蝶形骨洞腫瘍 / 渡辺次郎 / 産業医大 2 病理 / 78 / 男性 / malignant melanoma / malignant melanoma
2.　上顎洞病変　バーチャル / 西田陽登 / 大分大学医学部　診断病理学講座 / 76 / 女性 / Aspergillosis / Aspergillosis
3.　前縦隔腫瘍 / 赤木真由美 / 宮大腫瘍・再生病態 / 附属病院病理 / 68 / 男性 / Type B3 thymoma with marked squamous and neuroendocrine differentation / Thymic carcinoma（squamous cell carcinoma）
座長：古賀　裕（九州大学）
4.　肺病変 / 和田純平 / 大分県立病院 / 66 / 女性 / IgG4-related（sclerosing）disease / Inflammatory pseudotumor

5. 肺病変と肺腫瘍 / 木下義晃 / 福岡大学医学部病理学講座 / 60 代 / 女性 / Adenocarcinoma + Pleoparenchymal fibroelastosis / Adenosquamous carcinoma + Pleoparenchymal fibroelastosis
6. 右肺腫瘍 / 北薗育美 / 鹿児島大学病理学 / 61 / 女性 / Primary myxoid sarcoma ※ EWSR1-CREB1 translocation / Primary myxoid sarcoma ※ EWSR1-CREB1 translocation

座長：松山篤二（産業医大）

7. 十二指腸乳頭部腫瘍 / 佐伯　潔 / 九州大学形態機能病理 / 54 / 男性 / Invasive ductal carcinoma mimicking micropapillary carcinoma / Mucinous adenocarcinoma
8. 膵頭部腫瘍 / 蔀　由貴 / 大分大学　診断病理学講座 / 20 / 女性 / Ewing sarcoma / primitive neuroectodermal tumor / Solid pseudopapillary neoplasm / tumor
9. 膵頭部腫瘤 / 中山正道 / 久留米大学医学部病理学講座 / 67 / 男性 / Lymphoplasmacytic infiltration / IgG4-related sclerosing pancreatitis

座長：中山正道（久留米大学）

10. 胆道病変 / 竹屋裕斗-安里嗣晴 / 熊本大学医学部付属病院病理診断科（病理部）/ 4 / 男性 / Langerhans cell histiocytosis / Congenital bile duct dilation

座長：平木　翼（鹿児島大学）

11. 胆嚢ポリープ病変 / 吉河康二 / 別府医療センター病理診断科 / 40 代 / 男性 / Neuroendocrine tumor, clear cell variant / Neuroendocrine tumor, clear cell variant
12. 右乳腺腫瘍 / 黒濱大和 / 長崎医療センター病理診断科 / 46 / 女性 / Carcinoma arising in phyllodes tumor / Malignant phyllodes tumor

座長：西田陽登（大分大学）

13. 子宮頸部粘膜下腫瘍 / 橋口真理子-甲斐敬太 / 佐賀大学病因病態科学診断病理学分野 / 56 / 女性 / Clear cell adenocarcinoma / Clear cell adenocarcinoma
14. 腎腫瘍 / 島尾義也 / 県立宮崎病院　病理診断科 / 2 / 男性 / Malignant rhabdoid tumor / Malignant rhabdoid tumor

第 356 回九州・沖縄スライドコンファレンスが下記のように開催されました。

日時：2017 年 3 月 11 日（土）13 : 00〜17 : 00
場所：長崎みなとメディカルセンター市民病院
　　1 階　醫聖ホール（第一会議室）
世話人：長崎みなとメディカルセンター市民病院
　　病理診断科　入江準二先生
参加人数：104 人

座長：甲斐敬太（佐賀大学）

1. 眼内腫瘍 / 元山海秀-山田壮亮 / 鹿児島大学病理学分野 / 17 / 男性 / Juvenile pilocytic astrocytoma of optic nerve / Optic（nerve）glioma
2. 舌腫瘍 / 唐田博貴 / 長崎大学 / 0 / 男性 / Glial tissue compatible with glial type choristoma / Congenital teratoma
3. 喉頭腫瘍らしきもの / 渡辺次郎 / 産業医大 2 病理 / 84 / 男性 / Spindle cell carcinoma / Spindle cell carcinoma
4. 肺病変　バーチャル / 石田佳央理 / 長崎大学病院 / 75 / 男性 / Plreuroparenchymal fibroelastosis / Plreuroparenchymal fibroelastosis

座長：神尾多喜浩（済生会熊本病院）

5. 肺腫瘤 / 神尾多喜浩 / 済生会熊本病院病理診断科 / 60 代 / 男性 / Lymphoepithelial cyst / Lymphoepithelial cyst
6. 肝嚢胞性病変 / 大坪智恵子（研修医）-伊東正博 / 長崎医療センター / 50 / 女性 / Ciliated hepatic foregut cyst with malignant change（squamous cell carcinoma）/ Squamous cell carcinoma arising in hepatic ciliated foregut
7. 膵腫瘍 / 大西紘二-神尾多喜浩 / 熊本大学細胞病理-済生会熊本病院 / 70 代 / 女性 / Anaplastic carcinoma / Anaplastic carcinoma
8. 左腎腫瘍 / 草場敬浩 / 大分大学医学部　診断病理学講座 / 40 代 / 女性 / Epithelioid angiomyolipoma / Angiomyolipoma

座長：安倍邦子

9. 右傍腎腫瘍 / 丸塚浩助 / 宮崎県立宮崎病院　病理診断科 / 40 代後半 / 女性 / Inflammatory myofibroblastic tumor of the perirenal region / IgG4-related disease
10. 子宮頸部腫瘍 / 久保田奈緒 / 久留米大学病理学講座 / 74 / 女性 / Uterine cervical cancer, adenoid basal cell carcinoma with CIN3 / Adenoid basal cell carcinoma
11. 右卵巣腫瘍 / 田代賀比古 / 小倉医療センター検査科 / 49 / 女性 / Mature cystic teratoma with mixed strumal and mucinous carcinoid / Mature cystic teratoma with strumal carcinoid
12. 後腹膜腫瘍 / 三浦史郎 / 長崎大学原研病理 / 44 / 女性 / Dedifferentiated liposarcoma / Malignant peripheral nerve sheath tumor

座長：山元英崇

13. 左臀部腫瘍　バーチャル / 吉本昌人 / 九州大学形態機能病理 / 6 / 男性 / Angiomatoid fibrous histiocytoma, myxoid variant / Angiomatoid fibrous histiocytoma
14. 右大腿内転筋腫瘍 / 福島　剛 / 宮崎大学腫瘍・再生病態学分野 / 26 / 男性 / Alveolar rhabdomyosarcoma / Ewing sarcoma / PNET
15. 膝窩部軟部腫瘍 / 荒金茂樹 / 大分大学　診断病理学講座 / 30 代 / 女性 / Phophaturic mesenchymal tumor of mixed connective tissue variant / Phophaturic mesenchymal tumor
16. 右肘窩軟部腫瘍　バーチャル / 伏見文良 / 九州がんセンター　病理診断科 / 15 / 女性 / Angiomatoid fibrous histiocytoma / Angiomatoid fibrous histiocytoma
17. 皮膚病変 / 吉村雅代 / 福岡大学 / 59 / 女性 / Wardenstrom's macroglobulinemia associated with cutaneous macroglobulinosis / Amyloidosis

第 357 回九州・沖縄スライドコンファレンスが下記のように開催されました。

日時：2017 年 5 月 13 日（土）13 : 00〜18 : 00
場所：九州大学病院地区 コラボ・ステーション 1
　　視聴覚ホール
世話人：九州大学大学院医学研究院
　　形態機能病理　小田義直
参加数：213 名

座長：西田陽登（大分大学）

1. 左篩骨洞腫瘍　バーチャル / 名和田　彩 / 健和会大手町病院-産業医科大学第 2 病理 / 30 / 男性 / NUT midline carcinoma / Olfactory neuroblastom
2. 右耳下腺腫瘍 / 大園一隆 / 熊本大学医学部附属病院病理診断科（病理部）/ 70 代 / 男性 / Intraductal carcinoma, low-grade / Secretory carcinoma / MASC
3. 右耳下腺腫瘍 / 石原　明 / 宮崎県立延岡病院 / 70 代 / 男性 / Carcinoma

ex pleomorphic adenoma, salivary duct carcinoma with rhabdoid features / Salivary duct carcinoma

4. 顎下腺腫瘍 / 宮崎　健 / 福岡大学 / 60 代 / 男性 / Adenoid cystic carcinoma with high grade transformation / Adenoid cystic carcinoma

座長：平木　翼（鹿児島大学）

5. 前縦隔腫瘍 / 梅北佳子 / 宮崎大学医学部病理学講座 / 78 / 男性 / Thymic squamous cell carcinoma / Micronodular thymoma with lymphoid stroma
6. 肝腫瘍 / 塚田幸絵-新野大介 / 長崎大学血液内科-病理診断科 / 63 / 女性 / Follicular lymphoma, grade 2 / Follicular lymphoma
7. 左乳腺腫瘍 / 渡辺次郎 / 産業医大 2 病理 / 82 / 女性 / Lipid rich carcinoma, apocrine carcinoma-like type / Apocrine carcinoma
8. 子宮腫瘍 / 友延　寛-山本一郎 / 九州大学形態機能病理-中津市民病院病理診断科 / 57 / 女性 / Uterine tumor resembling ovarian sex-cord tumor（UTROSCT）with sarcomatous component / Leiomyosarcoma
9. 右卵巣腫瘍 / 赤木真由美 / 宮大腫瘍・再生病態-附属病院病理 / 20 / 女性 / Sclerosing stromal tumor / Sclerosing stromal tumor

座長：古賀　裕（九州大学）

10. 膀胱腫瘍 / 島尾義也 / 県立宮崎病院　病理診断科 / 70 代 / 男性 / Plasmacytoid urothelial carcinoma, high-grade / Urothelial carcinoma
11. 膀胱腫瘍 / 宮里祐子 / 熊本大学細胞病理学分野 / 65 / 女性 / Urothelial carcinoma with giant cell features, high-grade / Urothelial carcinoma
12. 前腕皮下腫瘍 / 橋迫美貴子 / 長崎大学病院病理診断科 NEDCP / 0 / 女性 / Synovial sarcoma / Infantile fibrosarcoma
13. 骨腫瘍 / 大栗伸行 / 宮崎大　構造機能病態学 / 20 / 女性 / Denosumab-treated giant cell tumor of bone / Giant cell tumor of bone

また同日に九州沖縄スライドコンファレンス世話人会と日本病理学会九州・沖縄支部総会が開催され，以下の報告と議題の承認がなされました。

平成 29 年 5 月 13 日

H29 年度　スラコン世話人会議題

1. 役員改選
2. 平成 29 年度の開催予定
3. スラコン各機関の出題・投票・出席状況
4. 新規加盟機関，世話人

（新規加盟機関）

鹿児島県立大島病院	病理診断科	豊島里志
潤和会記念病院	病理診断科	林　　透
国立病院機構南九州病院	研究検査科	脇本譲二

（世話人交代）

野口病院	山下裕人→	横山繁生
大分大学診断病理学講座	駄阿　勉→	西田陽登
鹿児島大学　腫瘍学講座病理学分野		
	畑中一仁→	東美智代
長崎大学病院	木下直江→	新野大介
小倉医療センター	田代賀比古→	中山正道
朝倉医師会病院	田口　順→	田代賀比古
九州中央病院	峰　真理→	伏見文良

5. 九州沖縄病理懇話会　平成 28 年度決算報告
6. VS サーバー更新の費用・運用について

日本病理学会九州沖縄支部
九州・沖縄スライドコンファレンス
世話人幹事　小田義直

日本病理学会九州沖縄支部平成 29 年度総会

日時：平成 29 年 5 月 13 日（土）
於：九州大学病院地区　コラボ・ステーション I
2 階　視聴覚ホール（スラコン会場）

1. 報告事項
   1） 第 6 回九州沖縄支部病理学校
   （初夏の病理学校 2017 in あしきた）
   2） 各種委員会
   業務委員会，若手病理医の会，学術委員会，ホームページ委員会，女性病理医支援窓口，TF 委員会，広報委員会
   3） 九州沖縄支部スライドコンファレンスとコンサルテーション運用システム
   4） その他
   （1） VS サーバー更新について
   （運用 working group のことを含む）
   （2） 日本病理学会の AMED 委託事業「AI 等の利活用を見据えた病理組織デジタル画像（WSI）の収集基盤整備と病理支援システム開発」について
   （3） 日本病理学会精度管理委員会報告，NPO 法人日本病理精度保証機構活動報告

2. 議題
   1） 日本病理学会九州沖縄支部・役員の交代（案）
   2） 平成 28 年度決算報告（案）
   3） 平成 29 年度予算（案）
   4） 第 7 回九州沖縄支部病理学校
   （第 7 回初夏の病理学校 2017 波戸岬）

==========

病理専門医部会会報は，関連の各種業務委員会の報告，各支部の活動状況，その他交流のための話題や会員の声などで構成しております。皆様からの原稿も受け付けておりますので，日本病理学会事務局付で，E-mail などで御投稿下さい。病理専門医部会会報編集委員会：柴原純二（委員長），望月　眞（副委員長），深澤雄一郎（北海道支部），長谷川剛（東北支部），九島巳樹（関東支部），浦野　誠（中部支部），桑江優子（近畿支部），串田吉生（中国四国支部），大石善丈（九州沖縄支部）

==========

日本病理学会コンサルテーションシステム　謝辞

平成 28 年度日本病理学会コンサルテーションシステムにおきまして、ご尽力を賜りましたコンサルタントの先生方に心より感謝申し上げます。コンサルテーションシステムのコンサルタントの先生、及びコンサルテーションをお引き受けくださった先生方を以下に記載させて頂きます。

平成 29 年 6 月吉日

一般社団法人　日本病理学会

理事長　　深山　正久

相島 慎一	秋山 太	味岡 洋一	新井 栄一	新井 冨生	石川 雄一
石田 剛	泉 美貴	伊藤 雅文	今北 正美	今村 好章	入江 準二
岩田 純	岩渕 三哉	植田 初江	宇月 美和	浦野 誠	大島 孝一
大林 千穂	岡 輝明	尾島 英知	小田 義直	覚道 健一	鹿毛 政義
亀山 香織	川本 雅司	岸本 宏志	清川 貴子	草深 公秀	九嶋 亮治
熊本 裕行	黒住 昌史	小島 史好	小島 勝	小西 英一	小森 隆司
桜井 孝規	佐々木 惇	佐々木 恵子	笹島 ゆう子	笹野 公伸	定平 吉都
佐藤 孝	澤井 高志	塩見 達志	柴田 亮行	澁谷 誠	清水 章
城 謙輔	鈴木 博義	鈴木 正章	砂川 恵伸	関 邦彦	園部 宏
竹下 盛重	立山 尚	田中 祐吉	田丸 淳一	蔦 幸治	津田 均
土屋 眞一	都築 豊徳	堤 寛	手島 伸一	土居 正知	豊澤 悟
長尾 俊孝	長坂 徹郎	中嶋 安彬	長嶋 洋治	名方 保夫	中谷 行雄
中沼 安二	中峯 寛和	中村 栄男	中村 直哉	二階堂 孝	仁木 利郎
野口 雅之	野島 孝之	羽尾 裕之	長谷川 匡	長谷川 博雅	林 博之
久岡 正典	比島 恒和	平戸 純子	蛭田 啓之	廣川 満良	廣島 健三
廣瀬 隆則	福永 真治	堀井 理絵	本間 慶一	増田 しのぶ	松野 吉宏
松本 俊治	三上 修治	三上 芳喜	湊 宏	宮田 元	村田 晋一
元井 亨	森谷 鈴子	森永 正二郎	森谷 卓也	八尾 隆史	安田 政実
谷田部 恭	柳井 広之	柳澤 昭夫	山口 岳彦	山元 英崇	横尾 英明
横山 繁生	義岡 孝子	吉川 洋	吉田 朗彦	吉野 正	若狭 研一
渡辺 みか					

（敬称略）